

平成 19 年度県民モニター第 1 回アンケート調査結果の活用状況等について

テーマ：生涯学習のあり方

学習活動の状況について

学習活動について、約 8 割 (79.5%) が「この 1 年くらいの間に学習活動をしたことがある」と答えており、学習活動がほぼ定着していることがうかがえる。

また、学習する目的について、「知識や教養として身につけたい」(73.2%)、「今後の生きがい」(60.4%)に次いで、「地域や社会に役立たせたい」を選択した人が 44.8%あり、学習やその成果の活用に対する意欲の高さがうかがえる。

社会の成熟化が進むにつれ、知識や教養を身につけるために学ぶだけではなく、学んだ成果を生かして地域や社会で活動することへのニーズが高まってきています。

このような生涯学習の現代的役割を踏まえ、県では第 6 期生涯学習審議会における「学習成果の社会への活用」についての提言「実践に学び、成果を社会に生かす生涯学習」(平成 19 年 3 月)を受け、学習成果を社会に生かす仕組みの構築に取り組んでいます。

いなみ野学園をはじめとする県高齢者大学では、カリキュラムに地域での実践活動を取り入れたり、学生による地域活動グループを地域に派遣するなど、高齢者大学での学びを生かして地域で活動することを積極的に支援しています。

県民が身近な地域を舞台に実践活動や生涯学習に取り組むことができる場として県民交流広場事業を展開しており、実践と学びとが一体となった活動の場を創出しています。

また、学習者が学習によって得た成果を地域で生かす環境づくりとして、「生涯学習リーダーバンク」を設置しボランティア指導者として社会に還元する場としています。

学んだ成果を社会に生かす機会について、「豊富にある」(13.6%)、「ある程度ある」(45.3%)を選択した人が約 6 割 (58.9%) を占める一方、「あまりない」(31.0%)、「全くない」(2.5%) を選択した人が 3 割以上 (33.5%) ある。

「ない」と答えた理由として最も多いのは、「学んだ成果を地域や社会の中で生かす機会があるのかどうかよくわからない」(52.5%)であり、今後も学習成果の活用の場の情報提供やコーディネートについて取り組む必要がある。

学んだ成果を社会に生かしている事例として、地域づくりの人材養成を目的として開設している「ふるさとひょうご創生塾」では、これまで 357 人の卒塾生を地域に送り出してきており、卒塾生は地域団体や NPO 等の設立・運営に中心的な役割を果たしているほか、県・市町の審議会委員や市・町議会議員として活躍するなど、一定の成果を上げています。

一方、情報提供やコーディネートが十分ではないという調査結果から、学習成果を活用する場の情報提供や相談窓口についての PR が不足していると考えられます。

今後も生涯学習の「生涯学習情報プラザ」や文化会館等の講座実施機関において、関係機関との連携を強化し、学習成果の活用にかかる情報提供や学習者と活動の場とのコーディネートに積極的に取り組んでいきます。

高齢者学習について

高齢者大学など、高齢者の学習の場を県や市町などの行政が提供することについて、「ある程度の公費負担があっても、行政が取り組むべきだ」が40.6%、「行政は民間との役割分担を踏まえ、必要性の高いものに絞って取り組むべきだ」が44.7%、「できるかぎり民間に任せるべきだ」が10.3%であり、民間との役割分担のもと行政に一定の役割を求める意見が半数以上を占めている。

また、様々な主体が高齢者対象の学習機会を提供するなかで、県が力を注ぐべきこととして、「地域活動の人材養成など公共の利益に結びつく講座の提供」との回答が6割強（64.5%）と最も多く、公益性の高い取り組みへの期待がうかがえる。

現在、県では県内7か所で高齢者大学を運営し、学習機会の提供を通じて、高齢者の社会参加と生きがいづくりを推進しています。

また、市町や民間で高齢者を対象とする様々な講座が提供されるなかで、県高齢者大学では、いなみ野学園の「地域活動指導者養成講座」や地域高齢者大学の「地域活動実践講座」などの地域活動の人材養成を目的する講座を実施するなど、公益性を重視した講座を展開しています。

団塊世代の定年退職期を迎え、高齢者の学習人口の増加が見込まれるなかで、高齢者の学習機会の充実は社会的に高いニーズがあり、県も一定の役割を担う必要があると考えています。

現在、第7期生涯学習審議会において「団塊世代を見据えた生涯学習等の推進体制のあり方」について審議を進めており、このなかで今後の高齢者学習における県の役割についても審議・検討することとしています。

これらの審議状況を踏まえ、今後も市町や民間との役割分担にも留意のうえ、高齢者学習を推進していきます。